

祝 楊名時八段錦・太極拳50年 日本健康太極拳協会 第5回九州ブロック大会 設立25周年記念 熊本県支部大会

2010年4月18日(日)・熊本市総合体育館にて開催

日本健康太極拳協会 設立 25 周年記念 熊本県支部大会は、県内から 1000 人、県外から 200 人、総勢 1200 名が参加。大会メインのプログラムでは日頃慣れ親しんでいる太極拳を全国からの多くの仲間と共に楽しみました。

また、お祝いの演舞では、お揃いのユニホームも凛々しい肥後鞭杆隊に声援を送り、老師表演では厳しい鍛錬の賜物の表演に会場中が息を呑み、ため息をつき、心を揺さぶられました。2 年がかりで準備を進めた記念大会は、参加者一人一人に感動の余韻を残し、希望を明日へつなげる大会となりました。



(会場：熊本市総合体育館)



(熊本県支部の横断幕)

プログラム

NPO法人日本健康太極拳協会 楊名時八段錦 太極拳
第5回九州ブロック大会
設立25周年記念熊本県支部大会

プログラム

第一部 開会行事

- 一 開会宣言
- 二 熊本県支部長あいさつ
- 三 日本健康太極拳協会理事長あいさつ
- 四 本館理事あいさつ
- 五 来賓あいさつ
- 六 来賓他県支部長 紹介・あいさつ

第二部 不老春フレゼント (母寿延年不老春)

第三部 全員演舞 (心とあわせて)

- 一 準備運動
- 二 立禅・甩手八段錦
- 三 楊名時二十四式太極拳 (二組)

第四部 昇段審査 (階位別) (無状の境にて)

- 一 初位 中位・與位・指導員・準師範
- 二 師範
- 三 講師 楊道先生

第五部

- 一 エニークライチ
- 二 寿太極拳 (不老拳・八十才以上の方)
- 三 楊名時二十四式太極拳

(来賓 各県支部長 本館理事 県外観客 4者)

休憩

第六部 お祝演舞

- 一 二十四式簡化太極健身毘行 (肥後鞭杆隊 県外参加者)
- 二 楊名時太極拳 (楊名時太極拳の源流)
- 三 老師表演

第七部

- 一 五禽戲
- 二 閉会

第 1 部 : 開会行事

開会挨拶は、牟田副支部長により開会が宣言され、
荒木支部長からは、

「遠方からのお客様、みどり滴る季節の熊本によろこお越しく
さいました。県内の皆様、各教室一丸となった協力により今日
を迎えることが出来ました。25年前熊本に楊名時太極拳が立
ち上がりました。

初代松川富子支部長により20年、2代目に引き継がれ5年
になります。今日まで私たちが楽しく太極拳に打ち込むこと
が出来ましたのは県内外のたくさんの方々のご協力とご支
援があったからにほかなりません。そこで共に祝っていただ
きたく25周年記念大会を計画し、ご参加を呼びかけさせて
いただきました。九州地域・全国組織の益々の発展と『健康・
友好・平和』の会の目的実現を祈念します。」と挨拶があり
ました



協会本部からは楊進理事長、牟田九州ブロック理事のご挨拶を
いただきました。今回は熊本県、熊本市の代表者をはじめた
くさんのご来賓をお招きし、お祝いのご挨拶をいただきました。



荒木支部長からご来賓と全国からのお客様の紹介がされました。



第 2 部 : 不老春プレゼント

恒例となった不老春プレゼント(80歳以上)の本年の受賞者は、74名の方々に熊本県支部の層の厚さと元気で太極拳に励んでおられることに勇気づけられました。

また、下田 富美子 様よりお礼の挨拶がありました。



第 3 部 : 全員演舞

練功十八法 立禅・スワイ手・24式太極拳で24式は2グループに分け、ゆったりと動きました。



第 4 部 : 昇段審査

昇段審査には、記念大会だけに多くの方が審査を受けました、審査には楊進先生、本部理事、各県支部長、支部理事、受審者の担当講師が立ち会いました。階位ごとにプラカードを作成し年々スムーズに進行できるようになった審査ですが、受ける側はシンとした中で緊張感の中にも晴やかさを経験します。審査後は楊先生から講評がありました。

< 初伝・中伝・奥伝・指導員・準師範 審査 >



< 師範審査 >



< 講 評 >



第 5 部

1. エニ - 3 タイチ

橋 逸郎 先生のご指導により、Any 3 taichi を全員で行いました。



2、寿太極拳

不老春プレゼント受賞者による寿太極拳の演舞がありました。優雅さの中に自信に満ちた演技を披露いただきました。



3、24式太極拳

今井 治 師範のリードで来賓・各県支部長・本部理事・県外一般参加者による24式太極拳の合同演舞がありました。参加県：北海道・石川県・福島県・東京都・埼玉県・神奈川県・大阪府・広島県・徳島県・福岡県・長崎県・大分県・鹿児島県」の方々に、さすが円熟した太極拳、見るものを得心させました。



第 6 部 : お祝い演舞

1. 太極鞭ガン 24 式：肥後鞭ガン隊



2. 楊式太極拳：楊 進 先生をリードに太極学院MBAと熊本県支部有志



3. 簡化 24 式太極拳：齋藤 弘子 先生



4. 形意鞭杆：楊 崇 先生



5. 八卦掌：楊 英美 先生



6. 孫式太極拳：楊進先生



第 7 部 : 五禽戲

参加者全員による五禽戲の演舞を荒木ひとみ支部長のリードで行われました。



第 8 部 : 閉会のあいさつ



閉会は 丸山 民代 副支部長より、
「遠方からご参加いただいた先生方、
本日は、大変ありがとうございました。
お蔭様で心に残るすばらしい大会にすることが出来ました。
心中よりお礼申し上げます。
県内の皆さん、特にスタッフはお疲れさまでした。
これからも同心協力、力を合わせてまいりましょう。」
という御礼の挨拶がありました。

翌日の熊本日日新聞にも大枠で一斉演舞の記事が掲載されていました。

熊本日日新聞 平成22年(2010年)4月19日 月曜日

1200人が参加した太極拳の「一斉演武」
熊本市の市総合体育館



太極拳

壮観…老いも若きも



真剣な表情で演武を披露する参加者たち

熊本市総合体育館 愛好者1200人一斉演武

高齢者を中心とする県内外の太極拳愛好者約1200人が18日、熊本市出水の市総合体育館に集結、壮観な「一斉演武」を披露した。日本健康太極拳協会の県支部（荒木ひとみ支部長、約350人）が、支部設立25周年を記念し九州ブロック大会に合わせて企画、全国の愛好者に参加を呼び掛けた。

同県支部によると、重が会場に響いた。心を下げてゆっくり体を動かす太極拳は、心臓に負担をかけずに身体を鍛える効果があるとして、高齢者の健康法として人気。この日は関東、九州などから20、80代の男女が参加した。道着やTシャツ姿で大体育室に集まった参加者たちは、真剣な表情で手足で弧を描くような太極拳特有の動きを披露。静寂の中、道着が擦れる音。

（岩崎健示）

太極拳歴約30年という下田富美子さん（84）も同市花立は「腹式呼吸で動くので心が落ち着く。元気の源です」と笑顔。同協会の楊進理事長（62）は「年齢を重ねるほど達成感を得られるのが太極拳。皆さん太極拳を楽しんでながら元気で長生きしてほしいと話していた。県内には約3千人の太極拳愛好者がいるという。」